

# 「体験から学んだ生涯学習フェスティバル」

事業委員長 佐藤 ひとみ

例年より早い積雪となった当日、戸外での体験は果たしてできるのかしらと心配されましたが、予定していた事業をすべて実施することができ、実行委員一同ほっとしています。団体同士の交流という色彩が濃かった例年までの形を、より一般市民の方が参加したくなる形に変えようとして取り組んだ最初の一步でした。野幌公民館の一階をほほ借り切り、協議会加盟の22団体がそれぞれの形で体験コーナーや展示紹介スチーシ発表をしました。



駐車場からの入り口横に、テナントで覆われたレンガの窯が設置されました。そこで調理室で作ったピザを焼く体験は好評で、ピザの匂いがお客さんをお呼びに役を買っていただいたように。和室ではお茶を茶釜で点てる体験ができ、お茶をいただく機会も他でもありますが、自分で点てたのは初めて。と思いがけず貴重な機会に出会った人もいました。江別カルタは、江別に長く住んでいく、知らな



かかったことがカルタでたくさん知ることができました。と子供の遊びに留まらず、大人も楽しめるご当地カルタにふれる喜びを感じていました。江別まっことええの映像が流れ、その衣装展示では、早変わり仕組の興味を興味深く手で触れて質問していました。尺八の演奏では説明もあり、会場のお客さんは和の音色に聞き入っていました。独特の道具を使った3B体操では、足を鍛える運動と肩回りをほぐす運動を体験し、「肩回りからくようになった」と言っていた人もいました。また、家庭生活のカウンセリングの様子を寸劇の形で上演してもらい、一人

で悩まずに相談できるところがあることを身近に感じられたと思います。北翔大学の吹奏楽によるジャズナンバーの演奏は、一気にライブ会場に変わり、体を揺らし、手拍子や声援が起り、アンコールにも応えてくれました。体験ブースでは、塩で成分を分離する実験や段ボール箱での肥料づくりの実演、絵本の読み聞かせやバルーンアート(風船で動物づくり)、折り紙でよく回る独楽づくりなどが催され大人も小さなお子さんもおもしろく楽しんでいました。カフェ笑くぼさんもお出店し、朝から準備のスタッフも大助かりです。ギャラリーではパネル展示も行われました。



来年は今回の形をさらに発展させ、もっと多くの市民の方に参加してもらえよう工夫していければと思います。



今年、「生涯学習フェスティバル」は「体験から学ぶ」をテーマに開催され、当協会も、人間が一生を生きる、食の安全・安心の重要性を考へてもらいたいとの考えから、食の体験講座(食品添加物の一つである着色料の簡易テスト)を実施しました。



参加の皆さんは、合成着色料の羊毛染色テストや分離テストを体験し、合成着色料が味や栄養には全く与せず、アレルギーや発がん性が疑われる物質もあること、更に、天然着色料の中にも消費者庁からアレルギーが確認された注意喚起されている虫の成分(分泌物)が飲料や加工食品、化粧品に使われていることなどの重要点を説明され、食品などの表示を確認することの重要性に理解を示していました。



「体験から学ぶ」をテーマに行われた生涯学習フェスティバルではおなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

ごの上での絵本コーナーでは、お気に入りの本を手にとり取って読み、工作コーナーでは牛乳パックの小物入れに模様つなぎ折り紙をちぎって貼りオリジナル作品を作りました。子どもたちには集中力が必要なものでしたが、子ども真剣に取り組みして、また大人の方が立ち寄り、懐かしそうに絵本を手にとり小物入れ作りに挑戦したり、まさしく生涯学習の場として楽しく体験して頂けたのでは...と思っております。

今後とも多くの活動を通して市民の皆さんに生涯学習の輪が広がることを望んでいます。

「体験から学ぶ」をテーマに行われた生涯学習フェスティバルではおなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

その後もコマに挑戦するお父さんや、バクバク人形作りに来てくれる子どもたちで楽しい時間を過ごしました。天候のせいもありなかなか人も出づらいう条件でしたが、自分で作った作品を大切にうら抱えていく子どもたちにとっては貴重なフェスティバルだったと思います。

工作担当のメンバーは手際よく指導し、二人とも作り上げ大満足。でも、このコマを回すには力がいるのです。そこでお父さんの出番。昔を思い出して見事に回しました。びゅんびゅん回るコマをまわすお父さんを見上げ、二人は微笑ましく、私たちに笑顔くれました。

おなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

おなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

参加団体からのコメント

生涯学習フェスティバルに参加して

生涯学習体験の場

おなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

おなじみ「読み聞かせ」と工作の体験コーナーを開きました。初めてのことで参加者がとれくらしいのか不安でしたが、当日は親子でまたはお孫さんとなど、たくさんの方が来て下さいました。

あなたの生涯学習が、まっと見つけます!

## 体験から学ぶ

平成28年度 生涯学習フェスティバル

申込不要

日時/11月6日(日) 13:00~16:00

場所/野幌公民館 ホールほか

※本場体験コーナー

＜問い合わせ先＞ 江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習課)

TEL: 011-391-1062 FAX: 011-362-3434 E-mail: shop@gakushu@city.yabetsu.jp

主催 江別市生涯学習推進協議会

来年もフェスティバルの開催を予定しています。あなたの、やりたいことを見つけてきてください!



# リレー講座報告

平成28年度生涯学習リレー講座1  
「食へることは生きること」  
健康寿命を延ばし、楽しく食からの提案  
講師 江別保健所管内栄養士会  
尾澤 典子氏



「寿命」と「健康寿命」はどう違うのか。知っているようで知らないことが多いと気づかされた講座でした。講師はまず寿命と健康寿命の違いは、寿命は生まれながら死ぬまでの期間であり、健康寿命は「健康上の問題で日常生活が制限されることのない期間」すなわち介護を必要としない自立した生活を営める寿命をいこうと話されました。シニア世代の健康づくりの目標は生活機能の自立にあると提唱され①歩行②排泄③食事④入浴⑤着脱衣の日常生活動作が滞りなくできることが指標になると話されました。健康長寿を保つためには①栄養②体力③社会活動のために④採食⑤体力⑥ことが大切であり、特に体力と栄養は関係が深く、食生活が大事であることも示唆されました。栄養状態が良い高齢者は生存率も高いので、高齢になってから筋肉や骨密度を減らさないことが健康寿命を延ばすことにつながると言われました。このことは今後の生活を見直すとても良い参考になりました。(古川 淳子)

平成28年度生涯学習リレー講座2  
「運動習慣をつけよう」  
講師 江別市スポーツ振興財団  
藤岡 由佳氏



江別市民会館21号室にて受講者50名余り、市スポーツ振興財団の若くて元気な女性指導員3名のテキパキした掛け声の下、講座が始まりました。  
「日常何らかの運動をしている方」との問いに半数弱の手が上がり、タイミングがあった時にテレビ体操をする程度の自分としては、まず反省の一瞬。  
健康姿勢を保つための歩き方は意外と負荷があり、運動不足を実感しました。  
椅子に座った足のトレニングでは、翌日かなりの筋肉痛になるのではと心配しましたが、大丈夫でした。  
トレーニングは週に2回程度で筋肉を休めること、ストレッチは毎日行なって良いとのこと。健康に生きて行くために改めて姿勢正しく歩くことを思いました。(鈴木 真由美)

平成28年度生涯学習リレー講座3  
「生きがいづくり」  
私が大切に思っていること  
講師 アロハイナフラプロジェクト  
ト専任インストラクター  
堀内 真知子氏



私が堀内真知子先生の講演会に参加するのは、はじめてでした。先生は、明るくさわやかな印象の方でした。講演で話された内容も、堀内先生の生い立ちから始まり、ボランティア活動、お仕事の内容まで手短かで印象的なお話ばかりでした。多くの方々とお知り合いになられ、持ち前の明るさやさしさを人生を歩んでこられた方なんだと思いました。最後に、先生は、自分の好きな事を自覚し、好きな事を楽しみ、人生との関わりを大切にしてきたと話されました。私に話を聞いていて本当にそうだなと思いました。(林 ひとみ)

# 視察研修に参加して

西懸 昭子

去る10月4日、11名の理事で石狩市の生涯学習の現場を視察して参りました。

まず、向かったのは旧中学校の跡地を再利用した「石狩市民力館」です。こちらは、いしかり市民力館運営委員会事務局が直轄している場所です。

出迎えてくれた石狩市教育委員会の須藤氏と運営委員の石井氏、徳田氏の3名の方により立ち上げから現状の説明をしていただきました。

平成16年に生涯学習講座企画を市と協働運営し、学習の場を提供する「いしかり学のスミ」を8名の市民ボランティアとともに立ち上げました。市からサポートを受け、市民ならではの講座作りを目指し、平成20年までに31講座、987名の方に受講いただきました。その間に「石狩学びのスタ



ンプ制度が始まり、学びの場は平成21年度より現在の「いしかり市民力館」へ引き継がれ、今年で8年目を迎えています。

「いしかり市民力館」は、主催講座、まちの先生企画講座、連携企画講座の3つからなり、主催講座は、運営委員会が企画するもので、市民大学として①いしかり学コース②プロフェッサーコース(身近な課題について専門的に学べる)③地域企業学コース(市内立地の企業の技術、見学体験など学べる)④スキルアップコース(技術向上を目指す内容)⑤芸術文化のコースの5つがあります。

次にまちの先生企画講座は、自分の趣味や経験を生かすという、技術・技能を伝えたい、という思いを持つ市民が、まちの先生になって、独自で企画・運営・講師までを担う新しい講座です。カレッジ生ではない一般参加者の出席者が多く、体験の内容が好評だそうです。

また、厚田や浜益キャンパスでの講座実施状況は、今のところ数回の開催に留まっていますが、定期的に行なえることが目標とのこと。情報誌「あい風通信」は情報提供が主な内容になっているとのことでした。

抱えている課題については、受講者・スタッフともに高齢化で若い世代への働きかけなど抱えている課題は石狩市も江別市も同じ様でした。話は尽きませんでした。



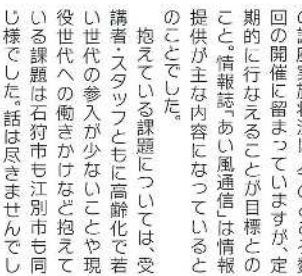
たが限られる時間でしたので、この辺で公民館を後に、次の訪問地「花川北「ユニティセンター」」へ向かいました。

こちらの建物も、講座開催によく使用されるのでバス停が近く、買物などの便利がいい場所でした。正面の入口を入ると今日の予定の書かれた大きなボードが目に入りました。

400名ほどの収容が可能なホールは、卓球をする人が楽しそうでした。これは4月から10月まで一設開放し、いつでも誰でも身体を動かして楽しんでもらうことができます。またリサイクルコーナーがあり、利用ついでに資源回収への協力もできます。会議室と室、調理室と多様な利用が叶う落ち着いた館内でした。

市民活動情報センター「ほばらー」が併設され、展示スペースにはイベント情報、カフェスペースは手作りのお菓子、地産産物のおいしいトマトやジャガイモが売られていました。また同じ場所には図書館があり、市民の活動拠点として工夫がされていました。

石狩市の生涯学習の現場を間近に刺激を受けた一日でした。



# これからのイベント

◆おはなしなあに  
○クリスマススペシャルおはなし会!  
日時/2016年12月16日(金)10:30~11:30  
場所/大塚公民館 2F 研修室2号  
毎年恒例、リタさんのやってくるおはなしなあにのクリスマス会!

◆江別消費者協会  
○冬休み親子手作りLEDランタン教室  
日時/2017年1月14日(土)  
場所/野幌公民館研修5号室  
参加費/500円  
(株)パナソニックの協力により消費者教育の一環としてエコなランタンづくりを実施する。

◆江別生涯学習インストラクターの会  
○親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい  
日時/2017年1月28日(土)  
場所/野幌公民館 和室  
10~15組程度

◆江別演劇鑑賞会  
○青年座「見よ、飛行機の高く飛べるを」  
日時/2017年2月23日(木)18:30~  
場所/江別市民会館大ホール  
明治末期、岡崎の女子師範学校を舞台に少女たちの友情、夢、恋を描く秀作。  
市川河江の少女時代がモラル。

今回の手話 「家族」  
  
左手を斜めに構え、右手で立てた右手2指を半回転させる

◆編集後記  
今回の生涯学習フェスティバルリレー講座調査・研究手帳報告は、いかがでしたか? 我々、広報委員会は大変ながら、楽しく関わり、皆様に当会の活動紹介をしております。これからも多くの参加、ご協力をお待ちしております。  
洞野 博文